

第2回天竜川河川敷 アレチウリ駆除作業 実施

環境保全委員会（塩澤茂治 委員長）は令和6年度第2回目となる天竜川河川敷アレチウリ駆除作業を行いました。

と き：令和6年9月7日（土）6：45～

場 所：右図

参加者：74名

天竜川上流河川事務所：吉田所長 他

かわらんべ：寺澤館長

川路まちづくり役員 センター：代田さん

ようす：

今年の第1回目は7月7日（日）に行い、地域の小・中学生にも参加を呼び掛けました。

今回は2回目、アレチウリを根っこから抜くと言う、『川路方式』は3年目です。効果は5年目から現れるとも言われているので乞うご期待ですね。



この時期に駆除作業を行った目的は、1年草のアレチウリが種子を付ける前に抜き取ることで絶滅を目指す為です。

今回、『川路方式』の効果をしっかり確認す



ることができました。つまり、第1回目に実施した範囲のアレチウリは少なく、それ以外の場所にはアレチウリはびっしり生えていました。・・・みなさんの苦勞が報われた気がします！



今回、大きな成果がありました。ひときわ大きなアレチウリの『Boss』を関島正憲さんが抜き取りました。そのあまりにも太い茎と根っこに驚きました。貴重なので、終わりの会で塩澤茂治委員長から参加者に披露しました。

これほど太いアレチウリは珍



これが『アレチウリの親分』と紹介！



しいそうです。かわらんべでは、かつて同じくらい大きなものを見つけたことがあり、その時はしばらく展示をしたとのことです。

駆除作業の成果です。道路いっぱいになりました。

【名勝天龍峡をどり】 開催

昨年は、コロナ禍の影響で4年ぶりに開催された『名勝天龍峡をどり』でしたが、今年は9月7日(土)に開催されました。川路まちづくり委員会から以下の皆さんが実行委員として参加しました。

副実行委員長：中島良彦 会長、(救護・迷子担当)：小木曾みどり 副会長、(交通整理)：林晴彦 安全推進委員長

(総務班・設営班)：小林好雄 副会長、(総務班)：塩澤明美 会計、(設営班)：今村光男 二区区長、牧内恒良 三区区長

(設営班)：松田初太郎 四区区長、伊原克朗 五区区長、塩澤太一 六区区長 牧内穰 七区区長、(オブザーバー)：増田寿匡 所長

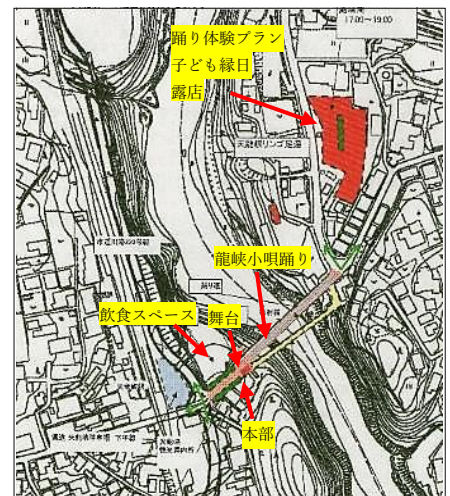
(警備班)：安全推進委員 長谷部徳裕さん、牧内信雄さん、今村正美さん、牧内隆善さん、中島徹さん



生演奏の龍峡小唄で気持ちよく！

名勝天龍峡をどりは、主催：名勝天龍峡をどり実行委員会 共催：19団体(川路まちづくり委員会、龍江地域づくり委員会、千代地区まちづくり委員会 他) 後援：6社 で開催されており、改めて大きなイベントであることを実感しました。

歴史もあって、今年で97周年だそうです。97周年と聞いて、重みを感じました。そして、



実行委員長の牧内健さんの挨拶では、記念すべき100周年を目指すとの熱い決意が述べられました。

今年は、踊りが始まる前に『正調龍峡小唄』の講習会が行われました。今まで川路小学校で教わってきた『龍峡小唄』は『正調龍峡小唄』と異なる、いわゆる『川路小学校版龍峡小唄』とのことです。

『川路小学校版龍峡小唄』は約90年前に、当時の川路小学校の先生が間違えて教えたものと、故北原郁さん(元龍峡亭女将)の説明です。

そして、60年前には今村正大さん他川路小学校の代表5人がSBCテレビに出演して『川路小学校版龍峡小唄』を長野県下に披露しました。それが今まで受け継がれています。



川路出身のニッチローさんも登場！

そこで、中島良彦会長は『正調龍峡小唄』を川路小学校で勉強してもらう良い機会と考えました。松岡香代子校長と話しをした結果、9月26日(木)に北原妙子さんから川路小学校で『正調龍峡小唄』を教えていただくことができました。今年の川路小学校運動会では『正調龍峡小唄』の踊りを見ることができるとのことです。



舞台から姑射橋に踊りの輪がのびてます！

ところで、皆さんは名勝天龍峡をどりに参加をされましたか？もちろん「名勝天龍峡をどり」がメインですが、「天龍峡縁日」や「子ども縁日」、「天龍峡りんご足湯」もあって大変にぎやかでした。

改めて、日本のお祭りっていいなーと思いました。川路の子どもたちの記憶に残るでしょう。そして、大きくなって川路を離れても、川路って良かったなーと故郷川路を大事に思うでしょう。